

<b>Cross-Refs</b> (3) 参照資料番号	129823	<b>Issued By</b> (4) 発行元	Pike Lumber Company, Inc.	<b>Issued To</b> (5) 発行先	Tokyo Hardwood Lumber Company, Inc.
<b>Description Of Product</b> (6) 製品詳細	Sawn wood of red oak HS 4407.91.00.22	<b>Common Name(s)</b> (7) 一般名	American red oak	<b>Scientific Name</b> (8) 学名	Quercus spp. mainly Q. rubra (northern) & Q. falcata (southern). May include Q. velutina, Q. nigra, Q. coccinea, Q. phellos, Q. laurifolia, Q. palustris, Q. ellipsoidalis
<b>Country Of Harvest</b> (9) 伐採国	USA	<b>Sub-National Region Of Harvest</b> (10) 伐採地域	Indiana, Michigan, Ohio	<b>Concession Of Harvest</b> (11) 伐採権利者	Multiple private forest owners.
<b>Thickness</b>	<b>Quantity</b>				
材厚 6/4 (1 1/2")	数量 11500 board feet				

## 合法性(12)

- セネカ・クリーク・アソシエーツ社によると、アメリカ広葉樹が違法伐採によるものであるリスクはほぼ皆無であり、アメリカ広葉樹総伐採量に占める盗伐材の割合は1%をはるかに下回っているためアメリカ広葉樹業界の合法性には高い信頼が寄せられている。
- 森林管理協議会（FSC）の「国際リスク登録一覧」は、アメリカ広葉樹はFSCの管理木材に対する4つの合法性条件すべてにおいて低リスクとしている。
- アメリカ広葉樹業界の全ての企業は米国の「レイシー法」の規制下にあり、米国への輸入原木すべてに関する申告を義務付けられている。同法はいかなる国の法律であっても、それに反して伐採された原木の所有が判明した米国企業を処罰するとしている。

## 持続可能な林業(13)

- 米国森林局国有林管理分析部門(FIA)のデータによると、レッドオークの蓄積量は24億8,000万m<sup>3</sup>で、アメリカ広葉樹全体の18.7%を占める。1年あたりの生長量が5,520万m<sup>3</sup>である一方、伐採量は年間3,390万m<sup>3</sup>であり、各年とも伐採後は正味2,130万m<sup>3</sup>の増量となっている。さらに主要生産州の全てにおいて生長量が伐採量を上回る。
- セネカ・クリーク・アソシエーツ社は、森林管理協議会（FSC）の管理木材規格において容認されていない5つの森林カテゴリーに由来するアメリカ広葉樹のリスクは「低い」としている。
- シンクステップ社のライフサイクル・アセスメントの研究では生物多様性への影響に関し、次のように結論付けている。「生物多様性、また関連するエコシステムの便益も含めた土壌の質について、他の商業用地から広葉樹林への転用がプラスの影響を与える可能性は非常に高い」。土地転用については、「伐採地においては伐採と森林再生が幾度となく繰り返されてきた。伐採されてもまた森林に戻るわけであり、数百年という期間で見れば、直接の土地転用にはあたらない」としている。

## 合法性と持続可能性に関する追加情報

以下に追加情報を記載

図 1: 郡別レッドオーク伐採量

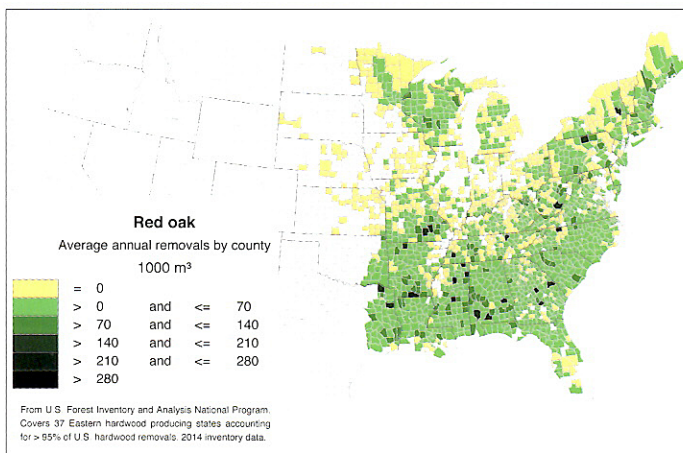


図 2: レッドオーク生長/伐採量 (単位 1000m<sup>3</sup>)

